

「神であるイエス様。」 ヨハネ福音書1章1節～18節

平気で嘘を言う人がおり、自分のした過ちや愚かさを言い訳する人がいます。イサクがヤコブを祝福した後、兄のエサウが来て「私を祝福して下さい。」(創世記27・34)と願いますが、イサクは語った祝福のことばはもう残っていないと否定します。言い訳のことばを言うと、そのことばは罪として定着してしまいます。過ちや罪を正当化するからです。その時に、必ず悔い改めてください。そうすれば赦されますが、罪の生活をしている人は、それができないのです。その咎は、呪いとしてその人の人生に付きまといまいます。また、「人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しになりません。」(マタイ6・5)とあるように、人を責めることばを発してはなりません。全体として悔い改めれば、それで赦されるのではないかと思う人がいますが、安易に長子の権利を譲ったエサウは祝福を失ったのです(創世記25・34)。口約束も法的な効力を持つ、契約なのです。

天地創造の時、神の子は「ことば」(1)として表現されます。「ことば」は、神そのものであり、神の理性であり、その「ことば」が発せられると「すべてのものは、この方によって造られた。」(3)。宇宙の最初について科学的には説明ができません。「エネルギー不変の法則」という法則があり、無から有ができるということはないのです。宇宙の生成は神にしかできないことなのです。

神が「光、あれ。」(創世記1・3)と宣言される前に、神の子が光であり、「光は闇の中に輝いている。闇はこれに打ち勝たなかった。」(5)。

宇宙の途方もない広さを知って、地球の小ささと人間のはかなさを感じる人もいるかもしれませんが。しかし、神が天地を創造される時に、その宇宙の端を造ってしまったら、おもちゃのようではありませんか。神にとって限らない宇宙を造られることは造作もないことなのです。

そして、神は、人を造りました。神の存在を認めず、論理的な追及を繰り返す科学では、世界の始めだけでなく、生物の誕生も、人間の誕生も説明できません。地球だけの論理で説明できないので、他の星から来たタンパク質とか、微生物が地球で進化進化したともされていますが、それにしても最初が説明できないのです。つまり、いのちは自然からは造られないのです。

ミトコンドリアは細胞の活動エネルギーを作り出すものですが、ミトコンドリアは母系遺伝をするので、現在わかっていることは、人類の先

祖は一人の女性から始まっているということなのです。彼女をミトコンドリア・イブと呼んでいます。まさにエバでしょう。「彼女が生きているもの全ては母だからであった。」(創世記3・20)。

人は罪を犯し、苦しんで生きるようになり、争いと憎しみの中で年月が過ぎていきます。そして、「すべての人を照らすそのまことの光が、世に来ようとしていた。」(6)。「なぜ、そんなにイエス・キリストが来られるのに時間が掛かったのでしょうか。」

① 信仰の民、ユダヤ人を育て上げるのに時間が必要だった。

② 歴史の中にキリストが現れるお膳立てをしていた。

③ 言語が統一されてきて世界宣教ができるようになった。

④ 悪がはびこり、「神は彼を試みて、その心にあることすべてを知ろうとして、彼を捨て置かれた。」(II歴代誌32・31)

だから、「この方はご自分のところに来られたのに、ご自分の民はこの方を受け入れなかった。」(11)は当然なことなのです。

「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとなる特権をお与えになった。」(12)。つまり、救われる民は少ないのです。そして、それは選ばれた民なのです。「この人々は、血によってではなく、肉の望むところでも人の意志によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。」(13)

クリスチャンになる人が少なく、洗礼を受けたとしても信仰から離れる人がいるのはしょうがないことです。しっかりと悔い改め、信仰生活を保てない人は、神が教会から離れさせるのです。説明したように、神がおられなくて世界は創造されず、いのちも人も起こりえないのです。罪人は、神を信じない理由を科学や個人的な理由で主張するので、それが神に通じるはずがありません。日本人の言い訳好きは、神を信じずに不信仰に生きる正当化になっていますが、それは愚か者のすることです。神は私たちを試みて、言い訳しようがない状態に追い込み、私たちを裁かれます。

しかし、信仰を持ち続ける私たちは、「この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。」(16)ことになるのです。信仰を離れた人々は、悔い改めることができなくなった人々です。もはや状況が悪くなっても、自分を正当化し、滅びの道を歩んでいくのです。むしろ、私は執り成しの祈りを続けていますが、信仰の道に戻る人はほとんどおりません。神の選びをなおざりにした罰は大きいのです。

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讚美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讚美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

ヨハネ 1:1 初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。

1:2 この方は、初めに神とともにおられた。

1:3 すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもなかった。

1:4 この方にはいのちがあった。このいのちは人の光であった。

1:5 光は闇の中に輝いている。闇はこれに打ち勝たなかった。

1:9 すべての人を照らすそのまことの光が、世に来ようとしていた。

1:10 この方はもともと世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。

1:11 この方はご自分のところに来られたのに、ご自分の民はこの方を受け入れなかった。

1:12 しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとなる特権をお与えになった。

1:13 この人々は、血によってではなく、肉の望むところでも人の意志によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。

1:14 ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。

1:16 私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。

1:17 律法はモーセによって与えられ、恵みとまことはイエス・キリストによって実現したからである。

1:18 いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである。

John 1:1 In the beginning was the Word, and the Word was with God, and the Word was God.

1:2 He was in the beginning with God.

1:3 All things were made through Him, and without Him nothing was made that was made.

1:4 In Him was life, and the life was the light of men.

1:5 And the light shines in the darkness, and the darkness did not comprehend it.

1:9 That was the true Light which gives light to every man coming into the world.

1:10 He was in the world, and the world was made through Him, and the world did not know Him.

1:11 He came to His own, and His own did not receive Him.

1:12 But as many as received Him, to them He gave the right to become children of God, to those who believe in His name:

1:13 who were born, not of blood, nor of the will of the flesh, nor of the will of man, but of God.

1:14 And the Word became flesh and dwelt among us, and we beheld His glory, the glory as of the only begotten of the Father, full of grace and truth.

1:16 And of His fullness we have all received, and grace for grace.

1:17 For the law was given through Moses, but grace and truth came through Jesus Christ.

1:18 No one has seen God at any time. The only begotten Son, who is in the bosom of the Father, He has declared Him.